

小山市立博物館

各教科に対応した、連携事業の実施 「学校連携事業について」

【学校連携事業】

小山市立博物館では、昭和58年の開館当初より、学校連携事業を教育普及活動の大きな柱として位置づけて推進している。

当初は、学校からの要請への対応に重点を置いていたが、当時利用対象となる学校は、市内小中学校だけでも36校あり、全校に対して平等に機会の均等を用意したいとの理由から、博物館から利用事業を例示し、学校がそれらを検討して利用の有無を決定するという形をとることにした。

現在は、学校連携事業を「学校利用推進事業」と「学校教育支援事業」という2つに分けて取り組んでいる。学校利用推進事業は、前記した博物館から利用事業を例示する事業である。内容は、小学校を対象に「6年生の歴史学習」、「3年生の昆虫教室」、「3、4年生の郷土学習」、そして、平成18年度からは、天体望遠鏡を搭載した『ほっしー★OYAMA号』の配車による「4年生の天文教室」の4事業が実施されている。市内27の全小学校が利用しており、博物館の提案したプログラムが完全に理解され、連携が確立している。なお、小6歴史学習（市内全27校来館）については、博物館予算の中でバスを配車、手配している。



事業実施までの手順は、前年度のうちに各学校との日程調整を完了し、互いに見通しをもって年間計画が立案できるように配慮されている。それ以外の施設見学や総合学習などの日程については、年度始めか各学期の早い時期に日程調整して対応している。

また、近年は近隣市町（下野市、野木町、藤岡町、岩舟町）の学校から、これらの事業利用の申込みもある。小山市内の学校を優先として日程を調整し、可能な場合は受け入れている。この4事業における平成21年度の利用児童数は、市内、市外を合わせると延べ6,959人となる。「火がついた時すごうれしかった。」、「石臼を回すだけで豆をすりつぶせるのはすごいと思った。」、「太陽を見ることができてうれしかった。」等の感想が、当館に寄せられている。

【学校との連携事業の実際】

小山市立博物館では、「学校利用推進事業」以外にも、「学校教育支援事業」として取り組んでいる。以下、そのいくつかを紹介する。

①移動博物館

博物館が所有する資料を、学校の学習の目的に応じ選定し、セットにして学校に一定期間貸出展示を実施する。中学校等の文化祭期間中にテーマに応じた「移動博物館」を実施している。

②縄文土器製作体験学習

小学校6年生以上を対象にしている事業である。土器作り、成形、野焼きを行い、縄文土器作りが体験できる。土器の成形では、「博物館友の会・土器の会」の方々にご協力をいただいている。中学校においては、選択社会の中に位置づけた学習單元として、小学校においては、総合的な学習の時間や社会科における体験学習として、少人数でも実施できるように配慮されている。

③教員研修

学校の教育現場の他、小・中学校教研教科部会や新採用教員研修及び社会教育研修の場など様々な研修の場として利用されている。常設展や企画展、館内施設の見学の他にビデオプロジェクターの活用、各種体験学習、学区の史跡巡りや自然環境などについて現地を案内することも可能である。また、ほっしー★OYAMA号を活用した天文教室を実施している。

【成果と課題】

- 学校利用推進事業の4事業に関しては、実物資料や学芸員による解説、機材や人材を最大限に活用した天文教室等のプログラムを確立することができた。
- グループ別見学を取り入れたり、ワークシートを活用したりすることで、学習の深化を図ることができた。
- 今まで以上に、地域の学習資源も視野に入れて、地域に根ざした学習を展開することが必要である。

《施設データ》

館 名 : 小山市立博物館
所在地 : 〒329-0214
小山市乙女1-31-7

TEL : 0285-45-5331

FAX : 0285-45-5247

設置年 : 昭和58年3月

設置主体 : 小山市教育委員会

ホームページ : <http://www5.city.oyama.tochigi.jp/hakubutu/>

入館者数 : 平成20年度 27,911人

